

いっぱんしゅもん

市立歴史民俗資料館について

市民クラブ 江田 治 雄

**問** 市立歴史民俗資料館の教育上の位置づけとその活用について。

**答** 浦山・大滝・荒川共に地域の特徴的な資料を中心に収集し、地域の生活文化の復元と保存伝承を行っている。学校指導要領に基づき、昔の暮らしにかかわる道具等を活用し生きた学習に結びつけた。また、要望があれば所蔵資料等の貸出しを行い、より多くの小中学生に活用して貰いたい。

有害鳥獣対策について

**問** 有害鳥獣の具体策について

**答** 今年の7月、秩父地域鳥獣害対策協議会が設立された。各地で深刻な問題。今後幹事会を設け、被害状況の把握、被害防止対策など7項目についての事業を行う。

市長の政治姿勢について

**問** 市長交際費を50%カットして市民の声が拾えるのか。

**答** 交際費は、市を代表して対外的に活動する際に、市政の執行をより円滑に進めるために、外部との交渉をする上で、必要な経費であり、ほとんどは、懇親会等の会費である。昨年度の8月末に86件

であったものが、今年は30件に減らした。金額にして35万円の減額。今後は必要な懇親会には参加して行く。

公共事業の入札制度について

**問** 電子入札の導入はいつから。

**答** 埼玉県電子入札共同システムに参加して実施したい。現在参加資格申請の定期受付をしている。登録業者を対象に市報やホームページなどで広報し、平成22年1月より実施の予定である。



荒川歴史民俗資料館

武甲山修景、自立圏構想、獣害対策

自由民政クラブ 今井 武藏

**問** 武甲山の修景の取組を6月議会で5項目を質問。市長は「研究機関は、今後の学問分野の成果、方向性と市の計画等を見極め、可能性を研究したい」の答弁を基に

①武甲山麓に「県立秩父園芸景観学校」の設置②秩父まるごと博物館、秩父ジオパークの連携の施策は。

**答** 現在日本ジオパークの認定に向けた諸取組の定住自立圏構想、博物館構想の連携等を検討し、園芸景観学校はその関連で検討中。

秩父定住自立圏構想

**問** ①秩父の自然、歴史、伝統、風土に人情を生かす②秩父の山と祭、芸能、秩父札所、芝桜等連携

**答** ③山国秩父独立圏の総合施策取組。秩父の歴史や風土を学ぶ機会を多くし、四季移ろい等、秩父の良さの環境改善の具体策を検討中。「地域学の推進」「秩父の芸能文化観光資源」の見直し等秩父の特色を活かし森と水を活かした圏域全体でちちぶ環境保全計画策定中。

秩父鳥獣対策協設立と獣害対策

**問** シカ等の被害は里に広がり深

刻。

- (1)鳥獣害被害の現状と防除対策
- (2)生息地の管理と適切な整備
- (3)個体管理の地域等組織的な取組
- (4)獣害対策の取組みの現状問題点
- (5)鳥獣被害対策協の中・長期計画
- (6)鳥獣被害防止特措置法の活用
- (7)シカ、イノシシ等の食肉加工場
- (8)県の山村振興農林漁業の施策

**答** 現在獣害被害対策は後手の状況で、対策協で秩父全域で具体策を検討中。また被害防止措置法は適用と併せ市独自で対策を推進中。



武甲山採掘残壁の緑化の植生状況

◎市への権限移譲分権型社会対応  
◎子ども議会郷土芸能の学習振興

いっぱんしゅもん

# 秩父夜祭、歴史文化伝承館の2階ロビー(室)の活用について

市民クラブ 井上 十三男

**問** 歴史文化伝承館の建設時に、お年よりの秩父夜祭の山車の曳行を見た事のない人のために、作られた室の活用について。

**答** 危険性の問題もあり難しいが、よく検討し、できれば来年度、早ければ今年に実現できる様に検討したい。

## ●本年度景気の動向と予算編成について

**問** 秩父商工業の現状について。

**答** 事業者は88%が不況をうたっている。商業はプレミア商品券の発売により各商店でも何らかのうるおいがある。

**問** 市の間断なき政策の現状について。

**答** 現在までに2億1千万円の事業の発注をした。市内業者にとっては、何分かかっているおおいがあったと思う。

## ●秩父市立病院に循環器内科の設置について

**問** 経費の収支について。

**答** 3,240万円の経費に対し、約4,900万円の収入を見込んでいる。



山車の曳行の見学場所として予定されていた2階ロビー

# 秩父市合併確認協議会の現状と今後について

市民クラブ 浅海 忠

**問** これまでの成果は。

**答** 各地区協議会は、毎年の予算編成前に開催され、それぞれ4、6回行った。代表者による連絡協議会も4回開催した。第1次秩父市総合振興計画の策定ができた。吉田中・荒川東小の改築、生活道路の整備、携帯電話の不感地域の解消、ちびキッズパークの建設、有害鳥獣被害防止対策、お出かけ楽々バス事業等を実施できた。

**問** 今後については。

**答** 合併協約確認協議会と、「ふらつとミーティング」「コミュニティ懇話会」「よいまちモニター制度」等の機会を利用して、市民の声を市政に反映していきたい。

## ●新型インフルエンザ対策

**問** 発生の状況はどうか。

**答** 集団発生は、公立保育所・中学校・市内企業の3件で大事にはいたっていない。

**問** 予防接種の対策と補助は。

**答** 国が示したワクチンの優先接種順位、医療従事者・持病がある人・妊婦・乳児の両親などに沿って対応したい。

**問** 補助については、国の動向を注視し前向きに検討したい。

## ●住宅用火災警報器の設置について

**問** 既存住宅の住宅用火災警報器の設置が義務付けされたが、普及の状況は。

**答** 調査をしていないが、設置により効果が実証されているので普及啓発活動を継続していく。



住宅用火災警報器

◎体育協会の統合について  
◎荒川地区の水道事業について

いっぱんしつもん

防災について

日本共産党秩父市議団 新井康一

**問** 防災無線は、旧町村では個別受信機がすべての家庭に設置されているが、旧市内は山間部を除き個別受信機は設置されていない。屋外の放送では夜間雨戸を閉めるとほとんど聞き取れないし、大雨では雨音で消されてしまい聞き取れない。今後の対策はどうか。

**答** 防災無線の単一的な整備ではなく、メール配信やインターネット等、非常時におけるさまざまな情報伝達手段を検討したい。

**問** 防災ハンドブックには避難場所マップと避難所一覧があるが、耐震強度の問題、地すべり危険箇所、橋を渡らなければいけない場所、急傾斜崩落危険箇所や土石流危険渓流付近など、安全面で疑問な場所もある。公共施設だからということだけでなく、安全性の面から避難場所として適するか再点検する必要があるのではないか。

**答** 小中学校の耐震診断は今年で終了、計画的に改修する。避難場所は状況に応じた運用をするが、新たな対策も検討し、市民の安全を図りたい。

**問** 水道については、経年変化でもろくなった石綿セメント管がま



旧町村の家庭用防災無線受信機の例

だ多く残っている。敷設換えの進捗状況と今後の見通しはどうか。

**答** 今年度末で進捗率52・9%、平成32年度までに終了する予定。

**問** 手の入っていない針葉樹林は下草も無く保水力が落ちて大雨が降ると一気に水が流れ、土石流の危険もある。孤立する危険のある集落もたくさんある。防災面から見た森林整備についての考えは。

**答** 総合的な森林整備が重要と考え、国・県の補助事業を活用して災害に強い森林整備を進めたい。

定住自立圏形成協定内容への提言

無党派 新井重一郎

**問** 旧秩父東高校を利用し、小中学生、教師のための「秩父科学実験室」を理系大学研究室分室として整備し、大学との連携により圏域内全体の理科教育の充実をはかり、さらに発展させ「理科教育モデル圏」を目指す取り組みを提案する。

**答** 今後ワーキンググループで教育力の向上に関する協議を進める中で検討したい。

**● バイオマス凍結解除と今後の発展**

**問** ①再開の理由②再開の日程③新規雇用④木材チップ製造機の導入⑤秩父市がバイオマスタウンに認定された。市としての構想は。

**答** ①このまま凍結すれば補助金を返還しなければならぬ。②9月15日。③新規に8人雇用。④今後の検討課題。⑤木質・草本系バイオマスを中心に家畜排泄物、生ごみ・食品加工残さ、廃食用油等の活用を推進していく。⑥市とし



旧秩父東高校理科実験室

ては行わない。

**● タイ国ヤソトン市との国際交流**

**問** ロケット花火の取り持つ縁により旧吉田町とヤソトン市とは16年間の交流の歴史がある。これを文化、経済、技術、人材等の交流にまで発展させたいと希望している。秩父市としての見解、対応は。

**答** 秩父吉田ヤソトン会が中心となり市は出来るだけの協力をする。

いっぱんしゅもん

「神領民家」屋根葺替え工事に関する

裁判結果について

市民クラブ 荒船 功

問 旧大滝村が合併前後に執行した三峰山駐車場整備工事の一部である神領民家屋根葺替え工事代金1,361万円余が政教分離に違反、かつ、秩父市文化財保護条例等の違反にあたるとして、栗原前市長ほか2名に損害賠償を求める住民訴訟が提訴されたが、7月22日原告の請求を棄却する判決があった。そこで、①裁判の経緯と裁判要旨②裁判費用③秩父市の見解。

答 平成19年7月に秩父市を被告とする訴状が、さいたま地方裁判所に提出され、計13回口頭弁論手続き及び証人尋問があり、本年7月22日に一審判決があった。

政教分離違反については、三峰神社が神領民家の文化的価値に着目して移築、民家の外観に宗教性がなく、多くの観光イベントに利用しており「公金の支出が神社神道に対する特別の援助ではない」。秩父市の文化財保護条例や補助金手続きに関する規則等についても違法性はないとして、原告の訴えは棄却された。

裁判費用は、弁護士委託料を着手金として80万円支払い職員の出

張旅費41,000円要した。一審判決後、担当弁護士に成功報酬を支払う契約となっていたが、原告が控訴しているので、控訴審の着手金50万円(十消費税)で引き続き同じ弁護士に訴訟業務を委任した。

旧大滝村の神領民家



大宮学校校舎の再建築は実施

新社会党秩父市議団 坂本文雄

問 明治17年に建築された大宮学校校舎は、秩父市図書館から秩父市民俗資料館に移築後、解体されて今は浦山に保管されている、再建は。

答 この建物はフランスとの関わりもあり貴重な建物と理解して。市政も財政的に厳しいが財政的な部分を勘案し必ず再建築する。

旧埼玉三興産廃処分場の管理は

問 ガスの燃焼井戸で燃焼が継続するほどガスが出ていない。3者協定書では秩父市が終了の指示を出すことになっている。井戸に円錐形のふたを作り、その中に鉄切り子入れて科学反応させては。

現在、処分場を管理しているのは秩父管財であるが、3者協定書を結んでいる柳生商事との話し合いが必要であり、責任を持った管理の徹底を行わせるべきである。処分場内の汚水処理を環境庁から試験的に貸し出した機械で汚水処理をしているが、来年3月末で終了になる。事後の対応は。

答 議員指摘の内容については理解できるので、埼玉県と連携を取

りながら解決に向け努力する。

新型インフルエンザの対応は

問 小中学校で感染者が出た場合の学級閉鎖や学校閉鎖の埼玉県指針は、幼稚園や保育所の指針については、幼稚園や保育所の先生は幼児に多く接するので、ワクチン接種を行政で行う考えは。

答 小中学校は3名発病で閉鎖との指針が出ている。幼稚園も同じだが、保育所も多数の発病では休園や一カ所に集結を考えている。先生のワクチン接種は検討したい。

逆浸透膜・汚水処理機

